

令和2年産 紀南の梅産地情報

2020/05/12

1. 4月15日の定点調査では、小梅・古城・南高の着果数は、前年・平年より少なかった。着果程度の傾向としては、平坦部の着果はやや多く、山間部は少ない傾向であり、園地によるバラツキが大きかった。



2. 5月11日時点の定点調査の実肥りは、小梅 17.3mm、古城 28.1mm、南高 30.3mm となっており、前年に比べるとやや大きく、平年並みとなっている。

■ 定点肥大調査（田辺市中三栖）

品 種	令和2年			令和元年	平年 (H22~R1)
	側経 (mm)	前年比	平年比	側経 (mm)	側経 (mm)
小 梅	17.3	113%	104%	15.2	16.6
古 城	28.1	111%	96%	25.1	29.0
南 高	30.3	116%	102%	26.1	29.5

3. 5月12日梅部会まとめの生産予想量は、小梅 525 トン（前年比 90%、平年比 64%）、古城 288 トン（前年比 79%、平年比 47%）、南高 16,988 トン（前年比 80%、平年比 76%）、在来系 299 トン（前年比 82%、平年比 57%）を見込んでいる。

生産量は今後の気象等により変動することがある。

4. 販売開始時期は、現時点で南高は5月下旬頃からを予定している。

5. 結実後の気温は、4月中・下旬は平年より低かったが、5月上旬はやや高くなった。降水量は4月中旬は平年より多かったが、4月下旬以降は平年より少なくなっている。

月 旬	平均気温 °C				降水量 mm			
	2年	元年	30年	平年	2年	元年	30年	平年
4月中旬	14.0	14.2	16.4	15.3	52.0	17.5	19.5	41.3
4月下旬	14.8	17.7	17.6	16.4	0.0	96.0	42.0	52.0
5月上旬	19.0	17.0	17.5	18.3	15.5	15.0	196.5	68.7

南紀白浜気象データより